

第31回 日本動物児童文学賞の受賞者及び入賞作品

第31回 日本動物児童文学賞には、101作品の応募があり、児童文学関係学識経験者による第1次審査を経て、動物福祉・愛護関係学識経験者や関係省庁関係者等からなる第2次審査委員会を7月11日に開催し、下記のとおり入賞作品として、大賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞5作品が選定された（表彰式の模様は670頁参照）。

入 賞 作 品

【日本動物児童文学大賞】

「ヨットの家に住むきみ」 河野いづみ（大阪府）

〈受賞理由〉古い家の売却を通して、動物を飼うことのきっかけ、適正飼育、飼育者の高齢化問題、終生飼養等のメッセージを、テンポの良いストーリーに上手に取り込み、暖かく伝えている秀作である。ペットごと家を売りたいという発想がユニークで面白く、ミステリー感もあり、物語に引き込まれて一気に読んでしまう。また、相手の立場に立って考えを巡らせれば、双方が満足できる解決策を見出すことが出来るということも示唆している。

【日本動物児童文学優秀賞】

「満月の夜に」 尾崎順子（兵庫県）

〈受賞理由〉満月の夜になると山の獣達の声が分かるようになる教師の真一と猟師の弥平の物語。社会が直面している野生動物の問題を、ファンタジー性豊かに表現し、難しさを感じさせずに物語へと引きこんでいく。情景描写が優れており、野生動物を取り扱う視点も良い。最後は安易に結論付けをせずに動物との共生について子ども達に考えさせているが、やや分かりにくい。

「明日香が生まれた夏」 佐々木 晋（北海道）

〈受賞理由〉狭い空間、短い期間で展開されるストーリーの中で、ひいおばあさんの死、子猫の誕生、母猫の死、妹の誕生と、生死が交差する物語へと読者を誘い込む。「生死」という重いテーマを取り扱っているが、心温まるファンタジーで、優しく命について考えさせている。生命の連環を想起させるラストも印象的。途中で張られている伏線もきちんと回収されており、力量ある作品である。ただし、公園で生活をするというのは如何か。展開にもう少し工夫が欲しかった。

【日本動物児童文学奨励賞】

「図書館のL」 梅津洋子（徳島県）

〈受賞理由〉図書館の脇に捨てられた子猫を育てていくことを通して、子どもの成長や家族のまとまりを生き生きと描いている。主人公のマミちゃんの友人に対するヤキモチや、おばあちゃんの優しさが物語の幅を広げている。諸事情で動物を飼えない家庭でも、ペットを飼っている友人や親戚と一緒に世話をすることで、動物とかかわる機会を持つてを紹介している。アニメ・歌詞等の著作権にかかわる表現がなければもっと良かった。

「かわぐつ先生」 感王寺美智子（福岡県）

〈受賞理由〉戦争体験により、一生をかけて人も動物も一つで

も多くの命を救っていきいたいという、獣医師のかわぐつ先生の思いが伝わり、人としての誠実な生き方をさりげなく語っているところに共感を覚える。情景描写がやや分かりにくいところがあるが、こなれた文章で読みやすく、感動的なストーリーである。

「牛の命」 芝田賢一（北海道）

〈受賞理由〉北海道の牧場での体験を通して、主人公の少年が命の連鎖について実感を持って学び、成長していく様子を優しくいまざりで見つめている。動物児童文学として題材が素晴らしい。現在の酪農家の実態（大規模化・機械化・人手の確保）や、牛の習性、搾乳の仕方、酪農家を支える獣医師の役割等が良く描かれている分、誤字や子牛の死因に矛盾があること等が残念であった。

「鳩に似た父さん」 中野幸隆（東京都）

〈受賞理由〉戦後間もない暮らしの中で、新聞配達で稼いだお金で小学生が鳩を飼う物語は、今も昔も変わらない、動物を飼うことの喜びや、それに付随する飼い主の責任等を押しつけることなく伝えている。ドバトの能力・歴史、時代背景などが良く描かれており、読者を引き込む力がある。ただし、時代背景にある労働組合問題は児童文学としては少し難しいので、親子で読んで欲しい作品である。

「ミュウが教えてくれたこと」 吉田万里子（大阪府）

〈受賞理由〉学校飼育動物のウサギを亡くしたことから始まり、助かった子猫の命があれば、亡くなっていく祖母の命もあり、繋がれていく命について学んでいく中で、成長していく主人公の少年の姿に希望が持てる。要所要所に出される母親の指示が若干説教くささもあるが、的確な指示を出す役割を与えることで、上手くまとめられている。飼い主の責任、獣医師、動物保護施設、ボランティア獣医師の役割等、さまざまな問題についても伝えている。

なお、入賞作品のうち大賞、優秀賞作品を収載した「第31回 日本動物児童文学賞受賞作品集」をご希望の方（1人1冊に限る）は、住所、氏名、電話番号、上記作品集希望と明記の上、切手310円分（送料）を同封し、下記送付先へお送りください。

〒107-0062
東京都港区南青山1-1-1
新青山ビル西館23階

公益社団法人 日本獣医師会 事務局
「第31回 日本動物児童文学賞受賞作品集」担当
お問合せ：TEL 03-3475-1601 FAX 03-3475-1604
E-mail : douai@nichiju.or.jp

